

第 102 回医師国家試験における採点除外等の取扱いとした問題について

F 15

15 「治すこと 時々、和らげること しばしば、慰めること いつも」との名言を遺した近代外科学の父と呼ばれているのは誰か。

- a Hippocrates(ヒポクラテス)
- b Robert Koch(ロベルト・コッホ)
- c Ambroise Paré(アンブロワズ・パレ)
- d Claude Bernard(クロード・ベルナール)
- e Edward Jenner(エドワード・ジェンナー)

採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

理由

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。